TOSHIBA
Leading Innovation >>>

東芝換気扇（パイプ用）

取扱説明書

- このたびは東芝換気扇（パイプ用）をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございました。
- この商品を安全に正しく使っていただくために、お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みになり、十分に理解してください。
- お読みになったあとは、お使いになるかたがいつでも見られるところに必ず保管してください。

もくじ

日本国内専用品
Use only in Japan

安全上のご注意

●商品および取扱説明書にはお使いになるかたやほかの人への危害と財産への損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。次の内容（表示・図記号）をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

表示の説明

⚠警告	"取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷（＊1）を負うことが想定される内容"を示します。
⚠注意	"取り扱いを誤った場合、使用者が傷害（＊2）を負うことが想定されるか、または物的損害（＊3）の発生が想定される内容"を示します。

＊1:重傷とは、失明やけが、やけど（高温・低温）、感電、骨折、中毒などで、後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものをさします。
＊2:傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さない、けが、やけど、感電などをさします。
＊3:物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットなどにかかわる拡大損害をさします。

図記号の説明

禁止

⃠は、禁止（してはいけないこと）を示します。
具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で指示します。

指示

●は、指示する行為の強制（必ずすること）を示します。具体的な指示内容は、図記号の中や近くに絵や文章で指示します。

⚠警告

使用を中止する

異常・故障時にはすぐに使用を中止する
発煙・発火・感電の原因になります。
すぐに電源を切りお買い上げの販売店または、東芝エアコン空調換気ご相談センターに点検・修理を依頼してください。
《異常・故障例》
●スイッチを入れても羽根が回転しない
●運転中に異常音や振動がする
●回転が遅い、または不規則
●こげ臭いにおいがする

改造禁止

絶対に改造はしない
火災・感電・けがの原因になります。

分解・修理禁止

修理技術者以外の人は、分解、修理（※）をしない
火災・感電・けがの原因になります。
※修理はお買い上げの販売店または東芝エアコン空調換気ご相談センターにご連絡ください。

取付禁止

内釜式風呂が設置された住宅では使わない
排気ガスが室内に逆流し、一酸化炭素中毒を起こす原因になります。

交流100V使用

電源は交流100Vを使う
交流100V以外の電源を使うと、火災・感電の原因になります。

取付注意

メタルラス張り、ワイヤラス張り、または金属板張りの木造の造営物に金属製ダクトが貫通する場合、金属製ダクトとメタルラス、ワイヤラス、金属板とが電気的に接触しないよう取り付ける
漏電した場合、火災の原因になります。

給気注意

煙突排気の燃焼器具をご使用のときは、空気の取入口より、十分給気される配慮をする
排気ガスが室内に逆流し、一酸化炭素中毒を起こす原因になります。

電源を切る

お手入れの際は必ずスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜く
または分電盤のブレーカーを切る
感電・けがの原因になります。

禁止

水やお湯、洗剤、カビ取り剤などをかけたり吹き付けたりしない
火災・感電の原因になります。

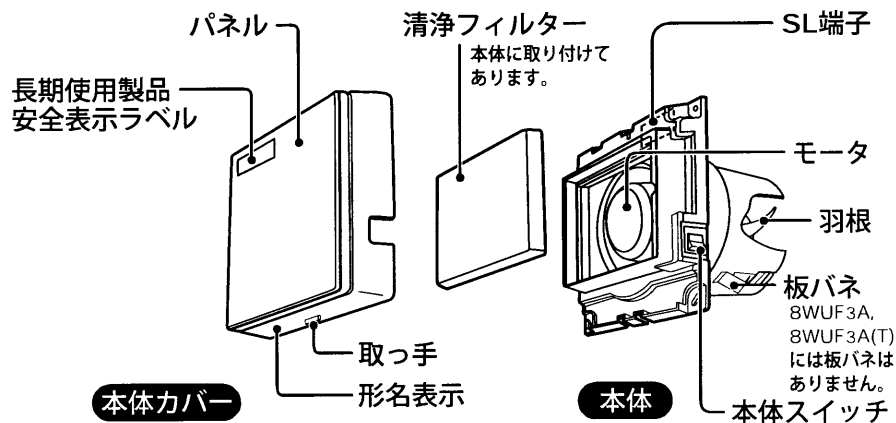
入り切り禁止

ガス漏れのときは、換気扇のスイッチを入れたり切ったりしない
ガス爆発の原因になります。

⚠注意

確実に取り付ける **電気工事は必ず電気工事店に依頼する 電気設備技術基準や内線規程に従って安全・確実に行う** 接続不良や誤った配線は、火災・感電の原因になります。	使用禁止 **浴室内に壁スイッチを設けない** 火災・感電の原因になります。
確実に取り付ける **本体の取付工事は十分強度のあるところを選んで確実に行う** 落下によるけがをする原因になります。	ブレーカーを切る **長期間ご使用にならないときは、必ず分電盤のブレーカーを切る** 絶縁劣化による火災・感電の原因になります。
取付禁止 **直接炎があたる恐れのある場所には取り付けない** 火災の原因になります。	使用禁止 **異常な振動がするときは使わない** 本体・部品の落下により、けがの原因になります。
使用禁止 **浴室など、湿気の多いところや水のかかるところで使わない** 火災・感電の原因になります。	手袋着用 **取り付け、お手入れの際は必ずゴム手袋を着用する** 手袋を着用しないと、けがをする原因になります。
接触禁止 **運転中は危険ですから、羽根の中に指や物を入れない** けがの原因になります。	確実に取り付ける **本体カバーや部品の取り付けは、確実に行う** 落下により、けがの原因になります。

各部のなまえ

●この換気扇は給気専用です。効果的に給気するため排気口を設けてご使用ください。
●排気用換気扇との併用をおすすめします。

長期使用製品安全表示制度に基づく本体表示について

■本体への表示内容
経年劣化により危害の発生が高まるおそれがあることを注意喚起するために、電気用品安全法で義務付けられた右の表示を本体に行っています。

⚠ 【製造年】○○○○年　【設計上の標準使用期間】　13年
設計上の標準使用期間を超えて使用されますと、経年劣化による発火・けがなどの事故に至るおそれがあります。

■設計上の標準使用期間とは
●運転時間や温湿度など、以下の標準的な使用条件に基づく経年劣化に対して、製造した年から安全上支障なく使用することができる標準的な期間です。
●設計上の標準使用期間は、無償保証期間とは異なります。また、偶発的な故障を保証するものでもありません。

■標準使用条件　JIS C 9921-2による

環境条件	電　圧	単相100V	機器の定格電圧による
	周波数	50／60Hz	
	温　度	20℃	JIS C9603参照
	湿　度	65%	
	設置条件	標準設置	機器の据付説明書による
負荷条件		定格負荷（換気量）	機器の取扱説明書による
想定時間	1年の使用時間	換気時間* ●台　所　2 410時間／年　●トイレ　2 614時間／年 ●居　室　2 193時間／年　●浴　室　1 671時間／年	
注)* 常時換気（24時間連続換気）のものは、8 760時間／年とする。			

■経年劣化とは
●長期にわたる使用や放置に伴い生ずる劣化をいいます。
●設置状況や環境、使用頻度が上記の条件と異なる場合、または、本来の使用目的以外でご使用された場合は、設計上の標準使用期間より短い期間で経年劣化による発火・けがなどの事故に至るおそれがあります。

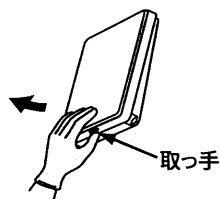
各部のなまえ（つづき）

付属部品

品　名	数　量
クッション（厚み12mm）	1
木ねじ	4

●取り付けの前に付属部品の確認をしてください。

本体カバーのはずしかた

取っ手に指を引っ掛け、手前に引きます。

＊本体カバーの取りつけ・取りはずしの時は、
パネルを閉じておこなってください。

別売部品

パイプフード(長形)

屋外に取り付け風雨の
侵入を防ぎます。

交換用清浄フィルター

8WUF3タイプ用　F-1SS3

8WUFF3タイプ用　F-1SX3

詳しくはカタログをごらんください。

仕様

取付場所	部屋の壁面
適用パイプ	塩化ビニル管（4番管,VP-100,VU-100）,メタルパイプφ100 （別売のフレキシブルパイプセットDV-1PJHのご使用をおすすめします。）
壁厚寸法	●パイプフード(薄壁用)を使用時は105mm以上 詳しくはカタログをごらんください

特性　電圧100V　50/60Hz共用

型　名	消費電力(W)		風量(m^3/h)		騒音(dB)		質量
	50Hz	60Hz	50Hz	60Hz	50Hz	60Hz	(Kg)
VFP-8WUF3タイプ	1.5	1.8	23	24.5	21	22	0.8
VFP-8WUFF3タイプ	1.5	1.8	20	21	21	22	0.8

●消費電力、風量〔静圧0Pa時〕、騒音の値はJIS C 9603の測定方法に準ずる。

この製品は、日本国内用に設計されているため海外では使用できません。また、アフターサービスもできません。
This product is designed for use only in Japan and cannot be used in any other country.
No servicing is available outside of Japan.

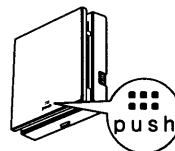
使いかた

■運転のしかた

本体スイッチ（側面）で操作します。

●運転するときは必ずパネルを開いてください。
（パネルが閉じられていると給気されません）

■パネル操作のしかた

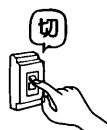
●パネル下よりのところにある「push」部をゆっくり確実に押して開閉してください。
　＊パネル裏面にパネルの開き量を調節するツマミが2つありますが、お客様のお住まいの住宅に最適な換気量に設定してありますのでさわらないでください。
　＊パネルの開き量は２種類ありますので、部屋ごとに開き量が異なっても異常ではありません。

建築基準法に定められた機械換気設備としてご使用の場合は運転を止めないで下さい。
長時間停止した場合、屋内環境が悪化し法律で定める基準をこえることがあります。

お願い
●風雨の激しいときは一時的に運転を停止して、パネルを閉めてください。
●パネルを開けたときは本体スイッチを「入」にし、パネルを閉じたときには本体スイッチを「切」にしてください。
●外気温度が低いときや室内湿度が高いときは、本体の表面や内部に結露が発生することがありますので、布などでふきとってください。（結露が多量に発生する場合は室内の湿気の発生を抑えて湿度を下げてください。）

お手入れのしかた

あまりよごれないうちに（約3ヵ月毎）お手入れしてください。

■お手入れの前に

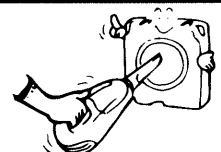
●本体スイッチを「切」にし、分電盤のブレーカーも切ります。
●手袋をご使用ください。
●台所用中性洗剤をご使用ください。化学ぞうきんやスプレー式クリーナー、シンナー・アルコール・ベンジン・灯油・ガソリン・みがき粉・アルカリ洗剤は使わないでください。
●本体真下の床等に新聞紙などを敷くことをおすすめします。お手入れの際にほこりなどが落ちることがあります。

本体カバーのお手入れ

1 本体カバーをはずします。取っ手に指を引っ掛け、手前に引きます。

運転したまま本体カバーをはずしますと、フィルターやほこりが手前にとびだすおそれがあります。

2 台所用中性洗剤溶液に浸した布をしぼって汚れをふきとります。洗剤が残らないよう、水でしぼった布でふきとります。

本体のお手入れ

1 ほこりを掃除機で吸い取ります。

2 本体は取り付けたまま台所用中性洗剤溶液に浸した布をしぼって汚れをふきとります。

清浄フィルターのお手入れ

■8WUF3タイプの場合

●本体表面に、はめてある清浄フィルターをはずします。

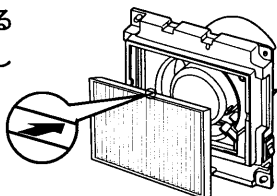
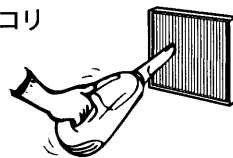
約6カ月に1回以上

●清浄フィルターは掃除機でホコリを吸い取ります。汚れのひどいときは、水かぬるま湯に台所用中性洗剤を溶かして軽く押し洗いし、水などで洗剤を流してから、十分に乾燥させます。熱湯で洗ったり、もみ洗いや力を加えて曲げることは絶対にしないでください。
●乾燥した清浄フィルターを元どおりに取り付けます。

お手入れのしかた（つづき）

清浄フィルターのお手入れ（つづき）

■8WUFF3タイプの場合　約3カ月に1回以上

●本体表面に、はめてある清浄フィルターをはずします。

●清浄フィルターは掃除機でホコリを吸い取って下さい。
●水洗いはしないでください。
●お手入れ後、清浄フィルターを元どおりに取り付けます。

お願い
●清浄フィルターの取付け方向にご注意ください。フィルター上面の矢印が取付方向を向く様に取付けてください。
●清浄フィルターは1年を目安に交換してください。

お手入れが終ったら

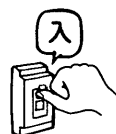
●本体カバーを取り付けます。
音がカチッとするまで本体に押しつけます。本体カバーを軽く引っぱって、簡単にはずれないか確認し、はずれる場合はやり直してください。取付が不完全ですと落下することがあります。

試運転

つぎのように試運転を行ってください

1 本体スイッチ「切」の状態で、分電盤のブレーカーを入れます。

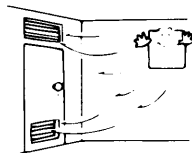
2 本体カバーの「push」を押してパネルを開けます。

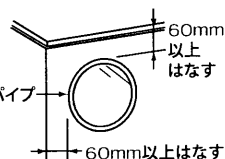
3 本体スイッチ「入」にし、つぎのことを確認してください。

●羽根は回っていますか
●異常な振動、騒音はありませんか
●パネルは開いていますか

取り付けかた

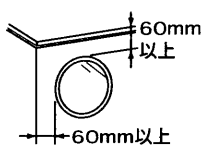
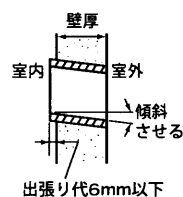
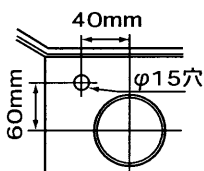
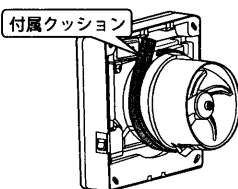
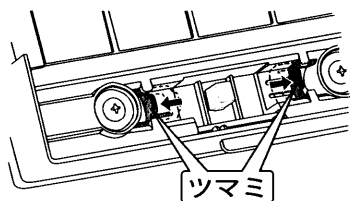
つぎのことをお守りください

●高温(40℃以上)になる場所、油煙の多い場所、腐蝕性ガスの発生する場所に取り付けないでください。
プラスチック部品が変形したり絶縁が悪くなり感電することがあります。

●効果的に給気するために排気口を設けてください。
(排気用換気扇との併用をおすすめします)

●住宅用火災警報器より1.5m以上離れた位置に設置してください。
(総務省令第138号、第七条による)

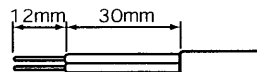
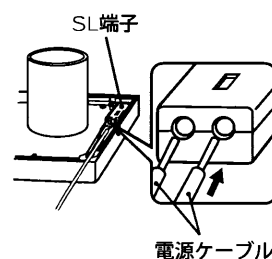
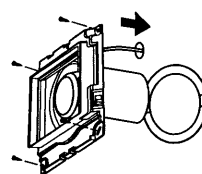
●天井や壁からの距離を守ってください。
本体カバーの取り付け、取りはずしができなくなります。

●本体カバー・本体を取り付けるときは本体カバーのパネル部に力を加えないようにしてください。
●メタルパイプをご使用の場合、切断面のバリを取ってください。
●アルミフレキダクトには取り付けないでください。
やむを得ず取り付ける場合は、本体の板バネをはずして、本体を木ねじ4本で固定してください。
(8WUF3A,8WUF3A(T)には板バネはありません。)
※アルミフレキダクトの切断面でコード線を傷つけないように、テープ等で処理してください。
コード線を傷つけると火災・感電の恐れがあります。

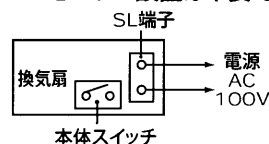
本体を取り付ける前に

1 パイプの取り付け穴位置を決めます。

2 壁に穴をあけ、パイプを取り付けます。
雨水が室内へ入らないようにパイプを傾斜させます。
パイプが壁面より引っ込まないようにしてください。

3 電源ケーブル
(φ1.6,φ2)を
引き込みます。

4 使用するパイプがVU管の場合は付属のクッション（厚さ12mm）を貼付けます。

5 換気量を調整するために風量を少なくする場合（定格風量のおよそ70%）には本体カバー裏面のツマミを動かしてパネルの開き量を少なくします。
(1)パネルを閉じます。
(2)本体カバーをはずし、本体カバー裏面のツマミ（2ヵ所）を図の矢印の方向に奥まで押しこみます。

(3)本体カバーを本体にはめこみます。
(4)パネルを開けます。

本体の取り付けかた

①本体をパイプに取り付けます

1 電源ケーブルを図のように加工します。

2 電源ケーブルをSL端子に芯線が止まるまで確実に奥まで差し込みます。

3 電源ケーブルのたるみをなくしながら本体をパイプに差し込み、付属の木ねじ4本で固定します。
※8WUF3A,8WUF3A(T)には板バネがありませんので、必ず木ねじで固定してください。

本体と壁面にすきまができると、空気もれの原因となります。

4 本体カバーを取りつけパネルを開けます。

②試運転

1 本体スイッチ「切」の状態で、分電盤のブレーカーを入れます。

2 本体スイッチ「入」にし、つぎのことを確認してください。

- ●羽根は回っていますか
- ●異常な振動、騒音はありませんか
- ●パネルは開いていますか

修理を依頼される前に

■下記のような現象が生じた場合は、お客さま自身で点検してください。

現　象	点　検
スイッチを入れても羽根が回転しない。	●ブレーカーが切れていませんか。 ●停電ではありませんか。
運転中に異常音や振動がする。	●換気扇が確実に取り付いていますか。 ●羽根が確実に取り付いていますか。

■上記の点検をしても症状が変わらないときは、事故防止のため、すぐに電源を切って、お買い上げの販売店・工事店に点検・修理をご依頼ください。(有料)

★ご自分での修理は、危険ですから絶対にしないでください。

ご不明な点や修理に関するご相談は

修理・お取り扱い・お手入れについてご不明な点は **お買い上げの販売店へご相談ください。**

販売店にご相談ができない場合は、下記の窓口へ

東芝エアコン空調換気ご相談センター

フリーダイヤル **0120-1048-00**

受付時間：365日 9:00〜20:00

携帯電話・PHSなど **03-5326-5038** (通話料：有料)

FAX　045-461-3493 (通信料：有料)

・お客様からご提供いただいた個人情報は、修理やご相談への回答、カタログ発送などの情報提供に利用いたします。

・利用目的の範囲内で、当該製品に関連する東芝グループ会社や協力会社に、お客様の個人情報を提供する場合があります。

修理を依頼されるときは　　出張修理

●ご使用中に異常が生じたときは、お使いになるのをやめ、電源スイッチを切り、差込みプラグのあるものは差込みプラグもコンセントから抜いて、お買い上げの販売店・工事店にご連絡ください。

ご連絡していただきたい内容

品　　名	換気扇 (パイプ用)
形　　名	
お買上げ日	年　月　日
故障の状況	できるだけ具体的に
ご 住 所	付近の目印等も合わせてお知らせください。
お 名 前	
電 話 番 号	
訪問希望日	
便 利 メ モ	お買上げ店名 ☎ (　　　)　　　−

修理料金の仕組み

修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

技 術 料	故障した商品を正常に修復するための料金です。
部 品 代	修理に使用した部品代金です。
出 張 料	商品のある場所へ、技術者を派遣する料金です。

補修用性能部品の保有期間

●換気扇の補修用性能部品の保有期間は、製造打切後6年です。
補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

愛情点検

●長年ご使用の換気扇の点検を！

ご使用の際このようなことはありませんか。	●スイッチを入れても羽根が回転しない。 ●運転中に異常音や振動がする。 ●回転が遅い、または不規則。 ●こげ臭いにおいがする。	ご使用中止	故障や、事故防止のため、電源を切って必ず販売店・工事店にご連絡ください。 点検、修理に要する費用は販売店・工事店にご相談ください。

東芝キャリア株式会社

〒416-8521　静岡県富士市蓼原336番地

本商品は、ご愛用終了時に再資源化の一助として、主なプラスチック部材に材料名を表示しています。

ET99907801-⑧